

## 【文学部 学部間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 07 月22日
所属	文学科/英米文学専攻（学科/専攻）
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2025 年6月28日
明治大学卒業予定年月	2027年03月
留学先大学について	
留学先国	韓国
留学先大学	高麗大学(日本語名) 고려대학교（現地言語名）
現地使用言語/ 授業使用言語	韓国語/韓国語・英語・日本語
留学期間	2025年02月～2025 年06月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): (現地言語での名称):  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1 学期/4 月上旬～7 月下旬、 2 学期/9 月中旬～2 月上旬	1 学期:3 月上旬～6 月下旬 2 学期:九月上旬～12 月末 3 学期: ～ 4 学期: ～

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ウォン)	日本円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	300 万ウォン	33 万円	
食費	250 万ウォン	27 万円	
図書費	0	0円	
学用品費	1 万ウォン	1000円	
携帯・インターネット費	30 万ウォン	3 万円	日本でSIM購入しました
現地交通費	10 万ウォン	1 万円	交通費安いです( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	50 万ウォン	55,000 円	
被服費	30 万ウォン	35,000 円	夏服は韓国で購入しました
医療費	0ウォン	0円	
保険費	—	7 万 円	形態:
渡航旅費	—	6 万円円	LCCならもっと安いです
ビザ申請費	—	5 万円	代行業者を使用しました
雑費	10 万ウォン	1 万円	
その他		円	
その他		円	
合計	約 680 万ウォン	約 90 万円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:成田 目的地:インチョン 経由地:	
復路 出発地:インチョン 目的地:成田 経由地:	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:  ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:大韓航空 料金:約 35,000 円 復路 航空会社:大韓航空 料金:約 23,000 円      ∴合計:約 58,000 円	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: ) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:Expedia) <input type="checkbox"/> その他( )	

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)	
<input type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: ) <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 )	
3)共有部分	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン( <input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
大学の紹介サイトが送られてきたのでそこから探しました	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
<p>一般的にコシウォンと呼ばれる狭い部屋に住んでいたのですが、寮に入れるなら寮に入るべきです。友達もできやすいです。コシウォンでも当たりはずれがあるので、よく中の写真や、共有スペース、人の対応などを見て部屋を決めるようにしてください。実家暮らししている方は特に、狭い部屋であることがほとんどなので、慣れるのに時間がかかるかもしれません。</p>	
現地情報	
1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: )	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等: )	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?	
<p>韓国では些細なことでも公共安全速報で知られるので、政治関係で少し荒れていたときは、それを確認するようにしていました。また、韓国の学生は、デモ等政治運動に参加する意欲が強いので、韓国人の友達に聞いて危険な日は外出を避けたりしていました。</p>	
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
<p>基本どこでもWIFIが通っています。自分は、日本でギガ無制限のSIMカードを購入していったので不便なことはありませんでした。設備が整っているので、インターネットに関しての心配事は少ないと思います。</p>	
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
<p>日本円をもって行って、換金して現金が必要な時だけ、現金を使用していました。飲食店では基本別々計算がどこでも可能で、決済は基本自分が持っている日本カードで行いました。VISAが使えないところは基本無いです。</p>	
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。	
<p>買おうと思ったら買えることが多いので無理して日本からいろいろ持っていく必要はないと思います。日本食がとても好きなら、それ関連のインスタント食品を買っていくといいと思います。日本のお菓子は韓国の皆さんから喜ばれるので、友達を作るきっかけにもなります。でも、韓国のご飯は比較的日本人の口にも合うので心配する必要はないです。</p>	

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
14 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 9 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった: 18 単位まで	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
principles of international commerce	国際商取引の原則
科目設置学部・研究科	国際
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が2回
担当教授	최우진
授業内容	国際的な商業について学ぶ
試験・課題など	中間テスト・期末テスト・アサイメント一回
感想を自由記入	毎回対面での授業で、やる内容は英語で受講するには少し難しいので、予習復習をして臨むと理解度が深まります。テストはほとんどが計算問題と記述問題で、授業の理解度が試されます。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
media technologies and culture	メディアの技術と文化
科目設置学部・研究科	メディア
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	二週間に対面、オンライン一回ずつ(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が1回
担当教授	마동훈
授業内容	メディアの歴史と、文化について学ぶ
試験・課題など	中間レポート 500words, 期末レポート 3000words
感想を自由記入	授業で取り扱った内容についてレポートを書くので、自分の興味のある内容に関してはかなり細かくノートを残しておく、最後スムーズにレポートを書くことができると思います。3000words のレポートは日本では書いた経験がなかったので、難しかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
modern current japanese literature and video culture		近代日本文学と映像作品
科目設置学部・研究科	日語日文	
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に75分が2回	
担当教授	YONEYAMA Hiroki	
授業内容	日本の文学や映像作品について講義し、発表する	
試験・課題など	中間テスト・期末レポート・演習発表	
感想を自由記入	基本的に授業は日本語で行われましたが、受講者はほとんどが日語日文学科の韓国人なので、ディスカッションの際は韓国語や英語を使用します。日本のことを多言語で学ぶのは、語学の学習にとって良いと思います。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
japanese language and society		日本の言語と社会	
科目設置学部・研究科	日語日文		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が2回		
担当教授	주현숙		
授業内容	日本や世界の言語について社会言語学の側面から着目する		
試験・課題など	一課につき一回課題・中間テスト・期末テスト		
感想を自由記入	この授業も日本語を軸に行われますが、詳しい説明やグループワークは韓国語で多くが行われるので、韓国語の学習にはとてもいいと思います。最後のテストは日本語での回答が可能だったので安心して授業を受けることができました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
korean speaking for beginners 2		初級韓国語会話2	
科目設置学部・研究科	教養		
履修期間	春学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	1単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面実践(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	이선미		
授業内容	韓国語の会話について、実践しながら身に付けていく		
試験・課題など	中間テスト・期末テスト・演習発表		
感想を自由記入	授業は韓国語で行われます。この授業はスピーキングの下から二番目のクラスなのですが、みんな基本的な文法などは知っている状態でした。韓国語のアウトプットをしたことがない、と言った方は慣らすのにちょうどいいかもしれません。履修後に思ったのは、もう一つ上のクラスを履修してもよかったかもしれない、です。無理してでも上のクラスを受講してみたら、絶対に伸びます。		

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
マイナビ
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
春学期に留学に行くと、もうサマーインターンの申し込みが始まる時期になります。少し乗り遅れてしまうことがあると思いますが、みんな口をそろえて言うのは、夏は焦りすぎない、ということです。サマーインターンは落ちることの方が多いので、焦らず留学で身に付けられる経験や知識を優先してよいのではないのでしょうか。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。  
(例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1 月 ~ 3 月	基本的な語学学習
	4 月 ~ 7 月	↓
	8 月 ~ 9 月	↓
	10 月 ~ 12 月	留学申請、準備
留学開始年	1 月 ~ 3 月	直前準備、出発
	4 月 ~ 7 月	留学中
	8 月 ~ 9 月	就活(予定)
	10 月 ~ 12 月	↓
留学/帰国年	1 月 ~ 3 月	↓
	4 月 ~ 7 月	
	8 月 ~ 9 月	
	10 月 ~ 12 月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

まずは初めに、高麗大学を選んだ理由としては、韓国に対する興味関心と、価格的な問題です。韓国はほかの留学先に比べて渡航費や物価が安く、金銭的にあまり無理することなく、留学することができます。さらに高麗大学は、現地学生と同じくらい留学生がたくさんいるので、語学としては英語の学習も容易にすることができます。なので、高麗大学を選びました。

高麗大学の留学生はまず、KUBAという留学生支援サークルに入ることになります。様々なイベントがあって、色々な友達を作ることができるので、たくさん参加することをお勧めします。日本の大学とは異なり、学校で行われるイベントがとても多いので、たくさん参加して、語学力を伸ばすきっかけにしてみてください。私は、KUBAに最初あんまり参加しなかったのですが、参加するようになってから韓国人の友達がたくさんできて、もっと早くから参加しておけばよかったと後悔しています。

授業は、受ける授業によって本当に色が違うので、自分が興味のある授業をとることが大事です。履修登録は基本早押しなので、履修登録スケジュールをしっかりと確認しておくのが大切です。明治大学のように、一律抽選、なんていう生易しいことはないなので、気を付けてください。特に、メディア学部が高麗大学の人気学部で、授業の定員がすぐに埋まるので気を付けてください。韓国の学生は勉強熱心な人が多く、テスト期間は大学のどの自習スペースもいっぱいです。たくさん勉強することも留学生活の思い出になるので、友達とたくさん勉強してみてください。

韓国は交通費がとても安いので、いろいろなところに出かけてみるのがいいと思います。最初は上手に取れなかった店員さんとのコミュニケーションや、現地の方との会話が、だんだん聞き取れるようになったり、会話ができるようになったりするとモチベーションの向上につながります。

ご飯に関してですが、下手に家で食べるより、友達と外食した方が安かったりします。韓国のお店は基本シェアする前提のところが多いので、気を付けてください。高麗大学の付近にはMr. 국밥, 고른해살, 오늘통닭という好きなお店があるのでぜひ行ってみてください。

恐らく、最初は緊張すると思いますが、気になったことは聞いてみて、やりたいことはやってみて、挑戦がいつばいの留学にすることをお勧めします。どこのご飯も基本おいしいし、大学に行けば基本誰かがいるのが高麗大学です。友達をたくさん作って、毎日とにかく会話して、授業の予習復習もして、たくさん遊びに行つて、忙しい毎日を送るのが、実りのある留学にするための重要なことだと思います。慣れない土地での生活は最初はストレスに感じることもありましたが、どんな場所でも住めば都、慣れれば都、今では、もう一度あの場所に戻りたいなあ、と思う、人生での大事なピークポイントの一つになりました。まずは踏み出すところから始めてみてください。